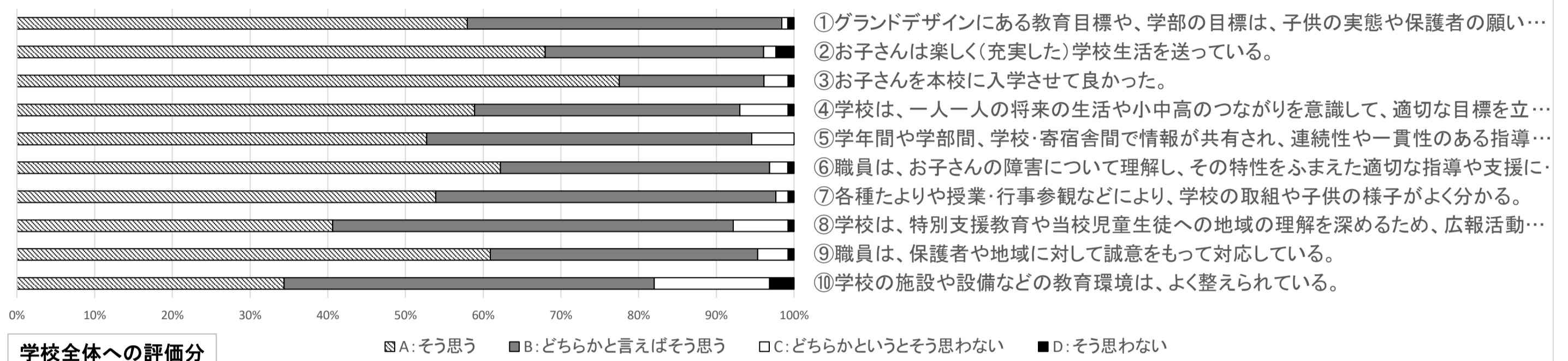


平成30年度 保護者・学校評価アンケートの結果(評価点・回答分布グラフ)

- ◆評価点は、A・B・C・Dをそれぞれ4点・3点・2点・1点に換算し、その平均を表しています。評価点が、3.5以上になるよう努めています。
- ◆グラフは、A・B・C・Dそれぞれの回答の分布を表しています。

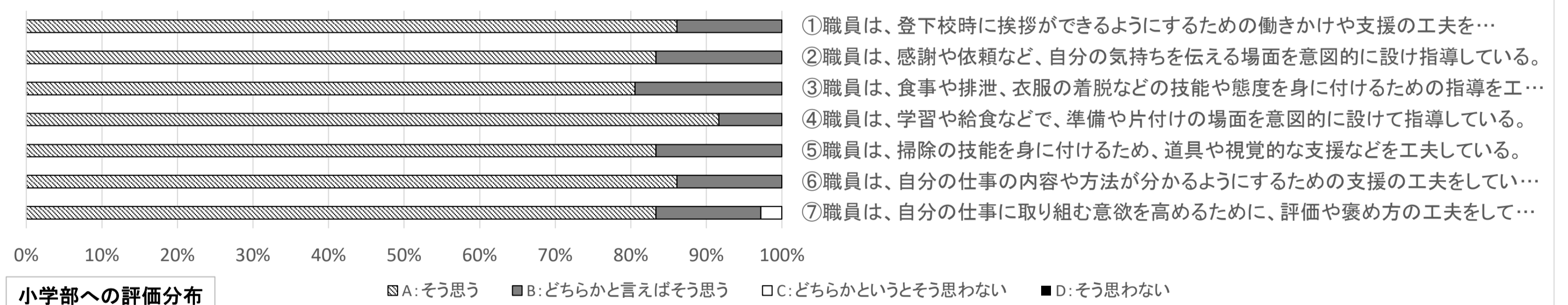
<全保護者による学校全体の取組に対する評価>

	評価項目	A(4点)	B(3点)	C(2点)	D(1点)	回答合計	評価点
目標・方針	①グランドデザインにある教育目標や、学部の目標は、子供の実態や保護者の願いに合ったものである。	73人	51人	1人	1人	126人	3.56
お子さんの様子	②お子さんは楽しく(充実した)学校生活を送っている。	87人	36人	2人	3人	128人	3.62
	③お子さんを本校に入学させて良かった。	100人	24人	4人	1人	129人	3.73
校内連携・一貫性	④学校は、一人一人の将来の生活や小中高のつながりを意識して、適切な目標を立てたり、必要な学習を行ったりしている。	76人	44人	8人	1人	129人	3.51
	⑤学年間や学部間、学校・寄宿舎間で情報が共有され、連続性や一貫性のある指導が行われている。	68人	54人	7人	0人	129人	3.47
専門性向上	⑥職員は、お子さんの障害について理解し、その特性をふまえた適切な指導や支援に努めている。	79人	44人	3人	1人	127人	3.58
地域・外部関係機関との連携	⑦各種たよりや授業・行事参観などにより、学校の取組や子供の様子がよく分かる。	69人	56人	2人	1人	128人	3.51
	⑧学校は、特別支援教育や当校児童生徒への地域の理解を深めるため、広報活動や交流活動等を積極的に行っている。	52人	66人	9人	1人	128人	3.32
	⑨職員は、保護者や地域に対して誠意をもって対応している。	78人	44人	5人	1人	128人	3.55
施設・設備	⑩学校の施設や設備などの教育環境は、よく整えられている。	44人	61人	19人	4人	128人	3.13



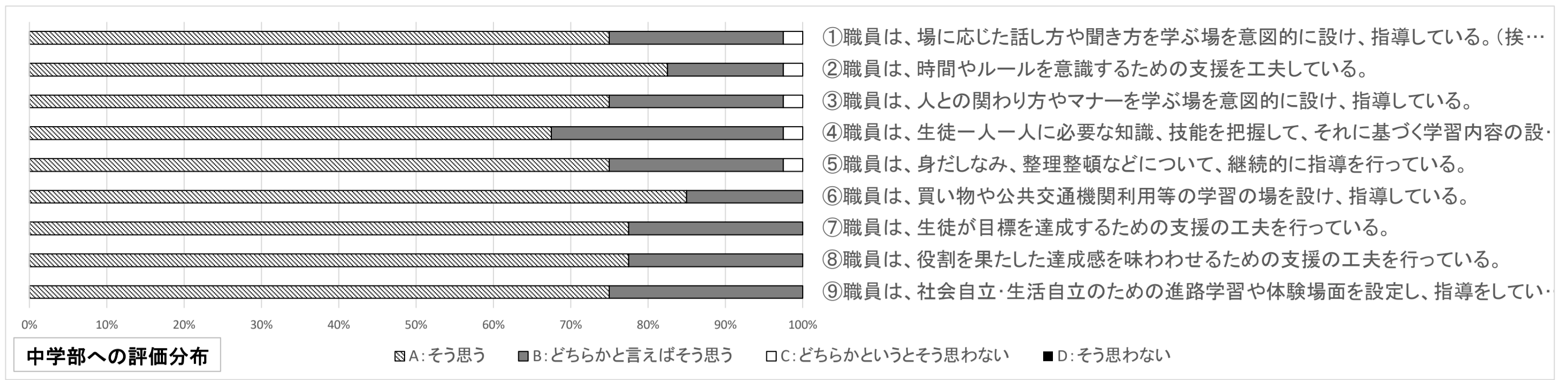
<小学部に対する評価>

	評価項目	A(4点)	B(3点)	C(2点)	D(1点)	回答合計	評価点	
目標	身近な人にあいさつをしたり、自分の気持ちを伝えたりする力を身につける。							
目標達成に向けた取組	①職員は、登下校時に挨拶ができるようにするための働きかけや支援の工夫を行っている。	31人	5人	0人	0人	36人	3.86	
	②感謝や依頼など、自分の気持ちを伝える場面を意図的に設け指導している。	30人	6人	0人	0人	36人	3.83	
目標	日常生活に必要な基本的な生活習慣や生活動作を身に付ける。							
目標達成に向けた取組	③職員は、食事や排泄、衣服の着脱などの技能や態度を身に付けるための指導を工夫している。	29人	7人	0人	0人	36人	3.81	
	④職員は、学習や給食などで、準備や片付けの場面を意図的に設けて指導している。	33人	3人	0人	0人	36人	3.92	
	⑤職員は、掃除の技能を身に付けるため、道具や視覚的な支援などを工夫している。	30人	6人	0人	0人	36人	3.83	
目標	自分の仕事に分かり、進んで取り組む力を身に付ける。							
目標達成に向けた取組	⑥職員は、自分の仕事の内容や方法が分かるようにするための支援の工夫をしている。	31人	5人	0人	0人	36人	3.86	
	⑦職員は、自分の仕事に取り組む意欲を高めるために、評価や褒め方の工夫をしている。	30人	5人	1人	0人	36人	3.81	



<中学部に対する評価>

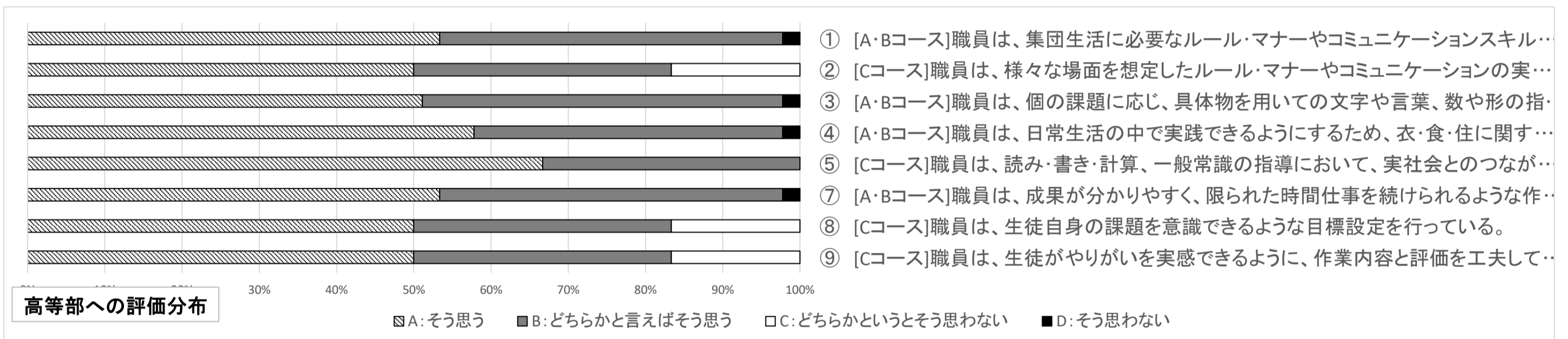
	評価項目	A(4点)	B(3点)	C(2点)	D(1点)	回答合計	評価点	
目標	集団生活で必要とされるルールやマナーを身に付ける。							
目標達成に向けた取組	①職員は、場に応じた話し方や聞き方を学ぶ場を意図的に設け、指導している。(挨拶、返事、敬語など)	30人	9人	1人	0人	40人	3.73	
	②職員は、時間やルールを意識するための支援を工夫している。	33人	6人	1人	0人	40人	3.8	
	③職員は、人との関わり方やマナーを学ぶ場を意図的に設け、指導している。	30人	9人	1人	0人	40人	3.73	
目標	日常生活に必要な知識や技能を実際の生活に生かす力を身に付ける。							
目標達成に向けた取組	④職員は、生徒一人一人に必要な知識、技能を把握して、それに基づく学習内容の設定している。	27人	12人	1人	0人	40人	3.65	
	⑤職員は、身だしなみ、整理整頓などについて、継続的に指導を行っている。	30人	9人	1人	0人	40人	3.73	
	⑥職員は、買い物や公共交通機関利用等の学習の場を設け、指導している。	34人	6人	0人	0人	40人	3.85	
目標	集団の中で自分の役割を自覚し、責任をもってやり遂げる力を身に付ける。							
目標達成に向けた取組	⑦職員は、生徒が目標を達成するための支援の工夫を行っている。	31人	9人	0人	0人	40人	3.78	
	⑧職員は、役割を果たした達成感を味わわせるための支援の工夫を行っている。	31人	9人	0人	0人	40人	3.78	
	⑨職員は、社会自立・生活自立のための進路学習や体験場面を設定し、指導をしている。	30人	10人	0人	0人	40人	3.75	



<高等部に対する評価>

評価項目	A(4点)	B(3点)	C(2点)	D(1点)	回答合計	評価点
目標 社会におけるルール・マナー、コミュニケーションスキルを身に付ける。						
目標達成に向けた取組 ① [A・Bコース] 職員は、集団生活に必要なルール・マナーやコミュニケーションスキルを学ぶ場を、授業や日常生活の指導の中で意図的に設定し、繰り返し指導している。	24人	20人	0人	1人	45人	3.49
② [Cコース] 職員は、様々な場面を想定したルール・マナーやコミュニケーションの実践的な指導を、授業や日常生活の指導の中で行っている。	3人	2人	1人	0人	6人	3.33
目標 地域の中で生活できる力を身に付ける。						
目標達成に向けた取組 ③ [A・Bコース] 職員は、個の課題に応じ、具体物を用いての文字や言葉、数や形の指導を行っている。	23人	21人	0人	1人	45人	3.47
④ [A・Bコース] 職員は、日常生活の中で実践できるようにするため、衣・食・住に関する基本的な内容を繰り返し指導している。	26人	18人	0人	1人	45人	3.53
⑤ [Cコース] 職員は、読み・書き・計算、一般常識の指導において、実社会とのつながりを意識した教材・教具を工夫している。	4人	2人	0人	0人	6人	3.67
⑥ [Cコース] 職員は、衣・食・住に関する実践的な力を生徒が身に付けるため、学習活動を工夫している。	0人	0人	0人	0人	0人	
目標 やりがいをもって働き続ける力を身に付ける。						
目標達成に向けた取組 ⑦ [A・Bコース] 職員は、成果が分かりやすく、限られた時間仕事を続けられるような作業内容や支援を工夫している。	24人	20人	0人	1人	45人	3.49
⑧ [Cコース] 職員は、生徒自身の課題を意識できるような目標設定を行っている。	3人	2人	1人	0人	6人	3.33
⑨ [Cコース] 職員は、生徒がやりがいを実感できるように、作業内容と評価を工夫している。	3人	2人	1人	0人	6人	3.33

※⑥については、アンケート用紙の回答欄に不備があり、お答えいただけなかったため、人数・評価点とも結果をお示しできませんでした。申し訳ありません。



<寄宿舎に対する評価>

評価項目	A(4点)	B(3点)	C(2点)	D(1点)	回答合計	評価点
目標 集団生活におけるルールやマナーを身に付ける。						
目標達成に向けた取組 ①職員は、挨拶の場の明確にして繰り返し指導を行っている。	30人	22人	0人	0人	52人	3.58
②職員は、友達や教師との適切な距離や接し方について、機会を捉えて個別指導を行っている。	25人	26人	0人	0人	51人	3.49
③職員は、年齢に見合ったマナーや身だしなみに関して、個々の課題を明確にして、繰り返し指導を行っている。	26人	26人	0人	0人	52人	3.5
目標 日常生活に必要な知識や技能を身に付ける。						
目標達成に向けた取組 ④職員は、個々の実態を基に必要な指導を行っている。	38人	14人	0人	0人	52人	3.73
⑤職員は、日常生活に必要な行動や所作を、寄宿舎の生活の中で繰り返し行う場を設定している。	38人	13人	0人	0人	51人	3.75
目標 係活動や行事などの役割を最後までやり遂げる力を身に付ける。						
目標達成に向けた取組 ⑥職員は、日常の係活動において、役割意識を高めるようにしている。	29人	22人	1人	0人	52人	3.54
⑦職員は、行事や係活動において、責任を果たせるよう支援方法を工夫している。	24人	27人	1人	0人	52人	3.44
⑧職員は、児童生徒の余暇活動を充実させるため、遊びの場の工夫を行っている。	29人	23人	0人	0人	52人	3.56

